

令和3年3月5日

保護者 各位

明照保育園  
園長 津村 侑弥

「令和2年度 保護者評価アンケート」を踏まえた「令和3年度 年間行事予定」の説明について

日頃より当園保育事業にご理解いただき感謝申し上げます。

さて、令和2年度の評価と次年度のより良い保育を実施するためにご協力をいただきました「保護者評価アンケート」と「年間行事予定」について、先日開催しました保護者会役員会のご意見を踏まえ、決定した園方針について主な変更点を大きく2つに分けて説明いたします。

1つ目は、これから継続して取り組んでまいりたいこと

2つ目は、コロナの影響を受ける期間に限った令和3年度の行事の行い方 です。

保護者様それぞれのご意見があることは十分に承知しておりますが、保護者、園児、職員の三者がいなければ保育園の運営は叶いません。また、どちらかに過負担が生じてしまうのも長期的にみて望ましくはありません。以上の点をご考慮いただき、ご理解を賜れば幸いです。ご不明な点がございましたらお気軽にお問い合わせください。どうぞよろしくお願いいたします。

### 【令和3年度からの方針】

#### ①明照保育園マーチング活動のこれから

→ マーチングフェスティバルは不参加とし、独自の年長児合同発表会を創出してまいります

25年以上にわたり参加してきましたマーチングフェスティバル。当初は横手大会として市内の会場で開催されていましたが、県南大会と規模が拡大し近年は美郷町リリオスで開催されています。園児が当日会場で披露するためには、どうしても本番会場での遠征練習が必要になります。

結果として職員が引率、練習に加わる必要があり、日常保育に負担がないわけではありませんでした。また、保護者負担も多く、毎年60万円ほどの経費を保護者負担（1名6千円）と園負担の半々程度で支出してきました。

これまでも経費を含め保護者・園・園児負担が軽減できるように、平成25年度からは4～5歳児参加とし（それまでは3歳児も出場）、平成30年度には9日間程度していた遠征練習を5歳児は5日間、4歳児は3日間とし、保護者負担額も5歳児5,500円、4歳児5,000円と減額しました。

そして昨年、コロナの影響によりマーチングフェスティバルが初めて中止となったことから、市内の金沢保育園さんに声を掛け、独自の年長児合同の発表会を開催するに至りました。

そこで発見できたこれまでのマーチングフェスティバルと比べての気づきが以下になります。

- ・年長児と限ること、遠征する必要がないことなど、日常保育への負担が少ない（金銭面の保護者負担も不要）
- ・他保育園の取り組みを見ることができ、保育園の多様な活動の理解につながる

- ・取り組みの違いなどを知り、園職員同士の交流になる
- ・就学前の園児の友達づくりや、交流活動のきっかけになる

などです。もちろん、マーチングフェスティバルの方が一瞬の華やかさにはありますが、その後の波及効果が保育園同士の発表会の方が多いことを実感しました。マーチングフェスティバルに参加してきた年中児にとっては残念な気持ちもあると思いますが、これからも2018年から開催しているマーチング・バトンタッチセレモニー（年中・年長児）で披露する場を確保いたします。

そして、園全体でマーチング活動に関わる姿勢を大切に、伝統ある活動を継続していけるよう職員で努力してまいります。

## ②連絡帳及び保護者様との情報共有のこれから

→ 電子連絡帳を導入し保護者と保育園の連絡方法を効率化します

細かなゆとりをつくり、子どもたちの成長を支えるより良い保育の実現を目指します

※準備が整い次第、説明させていただきます。

より良い保育のためには、業務を効率化し心の余裕をいかに作っていくかが課題となります。手書きの良さもあることは承知していますが、どの業態も人手不足に直面する中、二兎を追うことは無理があります。時代に即した発信方法を取り入れることで以下のことが可能になります。

- ・欠席連絡などに伴う伝達業務の削減
- ・同じことを伝える際に、1つ1つ手書きする業務の削減
- ・お帳面のカバー、中身、カバン入れのチェック作業の削減
- ・一斉連絡メールに資料を添付することが可能
- ・ケガ等の症状を電話だけでなく写真でも伝えられ、イメージの相違をなくすることができる

## 【令和3年度 コロナ収束までの方針】

### 「運動会遠足」

コロナの影響が拭いきれない来年度、まだ例年の行事運営は冒険的であり重視すべきは安全性であると考えます。遠足（5月）、運動会（6月）は開催できる可能性が高い秋に移動し、分けての開催ではなく、運動会に遠足の意味合いも加えた方法で行う形といたします。雨天の場合、屋内開催となります。密を避ける必要から以上児・未満児と分けて開催することをご理解下さい。

### 「各年齢児おゆうぎ会」

これまでも、これからも練習する場所で開催することが園児負担が少なく披露しやすいという観点から、当園を会場にすることを基本としています。

その上で感染防止策を踏まえると、以上児・未満児と二分する実施方法は今年度はまだ時期が早いと考えます。よって、令和2年度同様に、各年齢児のお遊戯会として、そこにクラス開放dayの親子とのふれあいを加え実施いたします。

※「こども縁日」は、これ！という提案が難しく、保留の意味で記載しています。ご了承下さい。